

---

# MY SWEET BOOTLEG (2016)

ハセガワアユム

---

登場人物

室田 剛 (25) . . . 若く硬派な漫画家。自分の漫画には思想があると信じる。

高橋たかひろ (35) . . . 喫茶店のマスター。渋い。

佐々木ミカエル (26) . . . 通称「ミカ嬢」、オタク女子。いわゆる「腐女子」BL

同人誌を執筆。

尾山陽子 (31) . . . 通称「おやまん」、オタク女子。ミカとサークルを組んでいる。

白鳥晶 (33) . . . 最近頭角を表す「腐男子」。ゲイじゃないけどBLが好き。

佐々木結花 (21) . . . 大人っぽい女子大生。ミカの妹。可愛い。

○舞台

舞台は、小洒落ていて、こじんまりとしているカフェ。

いくつかのテーブルや椅子などが並んでいるが、

素材、形、色が種別に分かれ、まるで何かのチームのよう。

カフェの入り口付近には、柔らかい色のソファとガラスのローテーブル。

中央には、灰皿が置かれたアイアンのテーブルと椅子。

奥の方には、大きなダイニングテーブルと木製の椅子が並ぶ。

統一感のなさが逆に統一感を生む、アンビバレンツと正直さがある。

そんなカフェの本棚に、やや浮き気味に、何故か、

暑苦しい画風の時代劇漫画『太郎丸』が置いてある。

○シーン1

ソファに座っている漫画家の室田。  
ノートを広げてペンを走らせている。

壁沿いに喫茶店のマスター・高橋が立っていて、  
ガニ股でダブルピースをしたまま、仁王立ちしている。

デッサンしていた、室田の指が急に止まる。  
真剣な顔の室田、首をかしげて高橋に近づく。

室田  
もっと、

高橋  
え？

室田  
もっと、足、広げて、

高橋  
もっと？

高橋、足を広げ、かに股を拡張する。

室田 (足を掴み) もっと、もっとっすよ、

高橋 えええ、

高橋、こだわりが理解できないまま、慌てる。

室田 キープ！ いいっ！ その顔いいっすよ！ 恐怖におののいてる感じと、困惑が混じってる。タ

カさん、いい表情です。

高橋 ほんとうか？ (笑顔)

室田 キープ！ ・タカさん、笑っちゃダメだ。

高橋 くくくくっ (しかめっつらに戻る)

嬉々と筆を走らせる室田。

高橋 ・・これ、なんのキャラなんだっけ？

室田 悪者っすね。

高橋 人間？

室田 人間ですな

高橋 そうか・・・

室田 年貢をつかつてるくせに、存在しなかった奴隷の銅像を立てて、反体制的な記念館をつくり悦に入ってる極悪人です。その記念館の前で、記念撮影のピースサインしていると、太郎丸の刀でまっふたつに切られるシーンですね。

高橋 そうか・・・

高橋の足が痺れて来る。

高橋 それ、ガニ股いる？

室田 いますね、頭から切られてるんで。圧で、

高橋 そうか・・・

室田 (書きながら漫画の台詞を小さくつぶやいてる)

高橋 ね、お客さん来たら、いったんやめてもいい？

室田 もちろんですよ。すみません、こんなこと手伝ってもらって・・・

高橋 いいのいいの、全然暇だったから

室田 タカさん、なんかアーティストイックなんですよねえ。つい描きたくなるっていうか、

高橋 『萌え』ってやつ？

室田 タカさん、『萌え』知ってるんすか？

高橋 ああよ、もうオタクのひとたちだけじゃなくて、一般用語でしょ。

室田 俺、いまだに嫌いなんですよね。あの響き。

高橋 最近入った、うちのバイトの子がさ、休憩中に『もえてる！』もえてる！』って、うるさいから。うちの店が燃えてるのかと思って（笑う）

室田 へへへ、

笑いながら足がガクガクし始める高橋。

高橋 はは、すまん、ちょっと休憩。

ストレッチする高橋、室田もペンを置くが、顔が曇る。

室田 ・・この店、オタクいるんすか？

高橋 え、

室田 バイトにオタク、何匹いるんすか？

高橋 ・・匹って、

室田 あ、すみません。つい。

高橋 ひとりいるよ。

室田 そっすか・・・

高橋 彼女、夜勤だから。室田くんとは会わないね、サイクル的に。

室田 夜、ずっと仕事場いるんで。

高橋 でしょ。

室田 なら、いいんすけど。せっかく、この店気に入ってるんで、来れなくなったらヤダなって。

高橋 え、オタク嫌いなもの？

室田 ……(頷く)

高橋 えええ〜〜〜！ オタクって、室田くんの漫画買ってるひとたちでしょう？ そういうひとたちを、

室田 違います。自分の漫画のファン層は、オタク、あんまりいません。

高橋 そうなんだ？

室田 雑誌のアンケートハガキで、好きな漫画を3つ挙げる項目があるんですけど、オタクっぽいクソ漫画と、被ってないです。

高橋 へー、まだそんなのあるんだ、ハガキ、



室田 硬派なんで。俺の漫画。

高橋 時代ものだしね、

室田 そこらへんのオタクが捉えてる「漫画」と俺の「漫画」は、もう別ジャンルなんです。

高橋 そうなんだ、

室田 タカさん、俺の漫画読んでますよね？

高橋 もちろん！ 店で全巻揃えてるじゃない（指差して）

ノートを掴み、勢いよく迫る室田。

室田 俺の漫画には思想があるんです！！ わかりますか？！ こういう、こういう（絵を見せて）醜

い悪人を脳天からぶったぎるようなね！！

高橋 それ、俺だけどね！

室田 オタク萌えするような、ただのエロとかバトルとか、そういう中身からっぽのようなもんじゃな

いんすよ！！！！

高橋 わかった！ わかったよ！

室田 特に、同人誌を描いているようなオタクに媚びてる漫画家は最悪です。自分の作品にある「隙」にわざと入らせている。

高橋 なに、同人誌って？

室田 オタクが、ひとの漫画のキャラクターを勝手につかって自分の漫画を描く・・・いわゆる、二次創作ですよ。

高橋 すごいじゃない！ んー、音楽でいうサンプリングってやつ？

室田 そんなかつこいいもんじゃないですよ、主にエロです。

高橋 ・・エロ？

室田 聞いたことないっすか、あの、「腐った女子」って漢字で書いて「ふじよし」って読むオタクたち。同性愛のエロ漫画が好物で、

高橋 ああ、なんとなくですけど、

室田 もともとノーマルなものを、勝手にエロ設定に変換するんです、

高橋 ・・ええ、と、

室田 どらえもんとノビタがセックスしてたり、

高橋 (想像し赤面) おいおいおい、どうして、

室田 最近だと「おそ松さん」で6Pしてたり、

高橋 「おそ松くん」だろ、

室田 キノコの山とタケノコの里がセックスしてたり、

高橋 お菓子でしょ?!?!

室田 しまいには、井の頭線と小田急線がセックスしてたり、

高橋 下北沢で、か、

室田 終わってんだ!! あいつら!! 自分からはなにも産み出さず、ひとの産み出したものを好き勝手いじくりまわしてる虫どもですよ。

高橋 . . .

室田 いつか、あいつらを俺の漫画にも出して、太郎丸で斬りつけてやりますよ。

高橋 時代劇でしょ、

室田 時代劇でも、(一息つき) 失礼。

ソファに座り、コーヒーを飲む室田。

その怒りはまだまだ滲んでいる。

高橋、そつと優しく寄り添い、エプロンを外し、ソファに落とす。

室田の手を揉み、マッサージをする。

少し、いやらしい。

高橋 大丈夫大丈夫(肩を揉み) ちよつと落ち着こう。

室田 すんません、つい。．．．あ、気持ち良いっすね。

高橋 だろ？（首を揉み）リンパ。この店開く前、按摩さんやってたから。

室田 そうなんすか、んあっ、

高橋 凝ってるね。

室田 ああッ．．．ああ．．

高橋、室田に覆いかぶさるようにマッサージしていく。

高橋、室田がリラックスしていくのに加速し盛り上がっていく。

高橋 ふんっ．．．ふんっ．．

室田 そのバイトのオタクって、俺のこと知ってます？

高橋 んんっ？

室田 ．．．や、んっ、その、俺、ここ通ってるんで、そういう話、ああッ、あるかなって、

高橋 ふん．．．ふん．．してないよ

室田 ．．．そっすか。

苦笑いする室田。

高橋　　なんでちょっと寂しそうな、嫌いなんでしょ？ オタク。  
室田　　・・・なら、いいんですけど。

高橋のマッサージが更に激しくなっていく。

ふたりの息も荒くなって行く。

音楽と暗転が重なり、二人をかき消していく。

○シーン2

ダイニングテーブルに3人、山盛りの同人誌が転がっている。  
腐女子（『ふじょし』）のミカと、その妹でありながらも、  
清纯派女子大生の結花が、同人誌を読みふけている。

同性愛の同人誌である。

テーブルの端では、ややスタイリッシュなオタクの風貌である晶が、ナルシスト気味なタッチでスケッチブックにイラストを描いている。

あまりにも衝撃的な内容なので、結花は固まっている。

それに気づかず、読み耽っているミカ。

盛り上がり、灰皿のあるアイアンテーブルの方へ行き、煙草に火をつける。ページをめくると、絶頂しているようなコマが目に入る。

ミカ くくくくくくっ！（はしゃぐ）

煙を吐き、同人誌は手放さず読み続ける。

結花が固まっていることに気づいた晶、ミカに話しかける。

晶 ・・ちよつと、

ミカ え、

晶 固まってる、

ミカ え、

晶 (結花を指差し)

結花 ……

やっと気づくミカ。

灰皿で火を消し、ハイテンションに話しかける。

ミカ あ、それ刺激強いから、閉じな！ ね！

結花 うん(そっと閉じる)

ミカ どう？

結花 どうって。

ミカ ボーイズラブ、初体験どう？

結花 どうって。ボーイズラブって、これオッサン同士じゃん・

ミカ これはね、「枯れ専のジジ攻め」だから。

結花 うーん、姉妹でエロ漫画読んでるって、この絵がすごい気がする。

ミカ 結花、これはエロじゃない。

結花 お姉ちゃんが、エロ漫画描いてるって事実をどう割り切ればいいのか？

ミカ 馴れだから。BLは、ゲージユツ、ゲージユツでしょこれ。

晶 (手は止めず深く頷く)

結花 これなんかどらえもんとジャイアンが、ノビタと、空き地で三人で、

ミカ あ、土管？ 土管のやつ？ クラシック、クラシックだからそれは！ 初心者にはいいかなうって。

結花 あたし、やだよお。オタクじゃないもん。

ミカ だからこそ、頼んでるんじゃない。

結花 えー。

ミカ オタクってさ、ぶっちゃけ今だイモっぽい子も多い訳よ。そこで結花みたいな可愛いパンギャル (一般人のギャル) が、きゃわいいコスプレでどーんって売り子に居てくれたら、うちのサークルの 宣伝にもなる訳よ。

結花 ・・そっかなあ。(同人誌) コレ買うひと、女なんでしょ？

ミカ (舌うち) ちっちちちち、最近、殿方も買ってくんだなく〜コレ。ね！

と、晶の方を見やるミカ。

晶、コーヒーカップを掲げ優雅になづく。



結花 (驚き) そのひとたちホモなの？

ミカ 萌えに境界はないわけよ。

結花 えー、ますますわかんないよお、

ミカ だから、いまはもう男女の垣根とか、セクシャルとか、そういうつまんないものをさあ・・・(言葉を探して)

結花 んー？

晶 そういう「萌え」がジェンダーを溶かした訳なんです。

結花 んんん？

晶 ぐっちゃぐっちゃにね。

スケッチブックを片手に、晶がやって来る。

ミカ 晶くん！

晶 はい、描き立て(原稿を見せる)

ミカ おっおおおお！こりはこりは！ やっぱ男性作画だと乳首のディテール全然違うわ！！！

晶 嗚呼！！ 乳首気づいてくれて超嬉しい！

結花 え、ええ？ その、あの、男の人が好きなんですか？

晶 (ふっと笑い) よく聞かれますが、

ミカ 違うんだな、これが！ 晶くんは最近よく聞くでしょ、「腐男子」なの！

結花 ふだんし？

晶 つすねえ、

ミカ あたしらBL好きの「腐女子」の男版。ピクシブ(漫画投稿サイト)で意気投合しちゃって、最近うちのサークルに入ってもらって、

晶 (物憂げに) 画力と欲望があるのに行き場がないって、淋しい旅人じゃないですか、

結花 え？・・・じゃあやっぱり、男の人が好きなんじゃないですか？

晶 違いますね、

結花 BL? は好きなんですよね、

晶 ボーイズラブは愛してます、

結花・・・読んで興奮するんですか？

晶 しますよ、

結花 描いても？

晶 もちろん、

結花 じゃあ男の人が好き、

晶 違いますね、

結花 こういうの興奮するんですよ、

晶 しますよ、

結花 描いても興奮、

晶 もちろん、

結花 じゃあ男の人が好き、

晶 違いますね、

結花 ループ？ ループしてる！！？

晶 僕のループは簡単に抜け出せませんよ、

結花 怖い、怖いんだけど、

ミカ わかって、わかってよお、「腐男子」わかってえ、

晶 BLは、なんていうか男同士という現世で叶わぬ理想を形にするゲージュツなんです。男の僕もそこに感動してるんです、

陶酔しふらふらと元の席に戻っていく晶。

ミカ そう、夢い恋に萌えるの、

結花 それもいいけど、お姉ちゃんいいかげん彼氏つくんなよ、

ミカ ちよっと、待って、まだあたしの話の途中、

結花 え、

ミカ あたしのターンでしょ！

結花 (こっそり) いつまでも処女とつくから、そんなにこじれちゃって、

ミカ ちよっとお！

結花 こういう、二次元は別に趣味だからしようがないけどさ。三次元は三次元で頑張らないと。

ミカ (震えて) あたしのターンなのに、なんでそんなこという？

結花 だって、説得力ありすぎなんかもん。そっちの理屈ばっかで固めてるけど。じゃあいざ三次元で

恋したいって思っても、出来なくなるよ。年下でよければ、大学のサークルの子とか紹介しようか？

ミカ ……つくるとか、紹介とか、恋愛ってそういう人工的なものかしら、

結花 (でかい声で呆れる) おい処女！

ミカ ちよっと！ 晶くんは聴こえるでしょ、恥ずかしい、

結花 いいでしょ、腐男子なんだから。あの人だって、きつと童貞だし、

晶 妻子いますよ、

結花 ちよっと謎すぎるんだけど！

そこに店員の尾山がやって来る。

あからさまに店員っぽいおおげさな振る舞い。

尾山 ちよっとく、いいかげん二杯め、頼んで頂けますか？

ミカ やだ、おやまん先輩、店員みたい！

尾山 だって店員だもん。

ふたり きゃきゃきゃきゃ！！

晶 (無音で小さく拍手)

尾山 (晶のデッサンを見つけ) あ！ 晶っち！ これ最高じゃん！

晶 イエス！

尾山 あ、と、は、結花ちゃん、なんのコスプレやるか決まった？

結花 いえ、まだです。

尾山 いいのいいの、まだ時間あるからね。それまであたしたちの世界に少しでも馴染んでくれたらええなって思ってる。(同人誌に気付き) あ、ごめんね、初心者にこれきついっしょ！

結花 いえいえいえ、

尾山 (ミカに) おばかッ (晶に) あんたもおばかッ！

ミカ 大丈夫大丈夫、結花、前に45のおっさんと付き合ったことあるから。  
尾山 むうわじでゆええええ！！？！？

尾山、信じられないくらい大袈裟に転ぶ。

全員 大丈夫ですか？？ (など)

尾山 結花ちゃん、あんたも、枯れ専なの？！

結花 たまたまですよ、ただの学校の先生で、

尾山 むうわじでゆええええ！！？！？

さらに大袈裟に転ぶ。

ミカ おやまん先輩！！

尾山 ミカ嬢、あなたの妹、枯れ専な上に教師属性つきとは、むむむ、

結花 まあ、女子校だったんで

尾山 禁断すぎる！！

ホラー映画で逃げる、デブで血まみれの少年のようなダッシュユで去る。

ミカ おやまん先輩！！！

結花 ちよっと、あのひとヤバいって。

晶 あなたが、先輩の萌えポイントビシバシ押ししてるんですよ！

帰って来る尾山。

手にはコロナやジーマの瓶ビール。

尾山 今日、もう閉店。締めて来た。

全員 ええ！

尾山 ちよっとじっくり、話そう。

ミカ いいの？

尾山 いいの、いいの、どうせ大した店じゃないんだし。あたしが夜の売り上げ分飲めばそれでいいで

しよ。ゴチったるから。（瓶を渡す）

ミカ ともです、

結花 どうも、

晶　　じゃあジーマを、

尾山とオタクたちテンション上昇中。

尾山　（結花に）で、で、で、どんなおじさんが好み？

結花　別に、たまたまおじさんだっただけで。

尾山　（遮り早口で）あたしは、ぱっと見若いけど実はジジイ年齢のおじさんがストライクかな

ミカ　おおくく、それ『聖パヤリース学園』の健二爺じゃないですか！

結花　誰ですかそれ？

尾山　漫画あ！前髪下ろすとめっちゃ若く見えるとか、超萌える。

結花　え、じゃあスピッツのボーカルとか？

尾山　あああツツ近し近し！40越えてるからね、

ミカ　48ね、

尾山　フアー！ミカ嬢は音楽にも造詣が深くてサンキューです、

ミカ　いえいえ、

結花　童顔、萌え？じゃあ若い人でいいじゃないですか？

尾山　それ違うんだなあくく。



ミカ アンチエイジングな時代が来て、その恩恵を一番受けてるといっても過言じゃないのが、おやま  
ん先輩。

尾山 いつも心で、独り占めはわりいなくて思ってる。流しそうめんの出口にひとりでいるような、

結花 わかんない！

尾山 結花ちゃんのその45のおっさんは誰似だったの？

ミカ おーっ、結花のターン、

結花 えー、っと、まあ、歳の割に、睫毛が長くて目が綺麗で

尾山 おおおおお、

ミカ 若い頃の北大路欣也みたいのだったよね、

結花 ちよっと、

晶 じゃあ夏コミのうちの新刊は、スピッツのボーカルと北大路欣也のBLやっちゃいます？

尾山 おおおお、需要低い〜！

結花 どうやったらその二人出会うの?!

ミカ、椅子の上に乗って踊ります。

ミカ まず、北大路欣也がマツケンサンバみたいな曲で当てて、Mステの楽屋で出会い、

結花 馬鹿！ 馬鹿姉！

尾山 老後に好きなことをやりたいと、北大路欣也がスピッツのメン募に応募するってセンもあるぞ。

結花 いや、ないですよ！

晶 嗚呼ッ、それ！（閃いて描き出す）

結花 閃かないで、

ミカ 北大路欣也サンバの扇子をピック代わりにね（扇子で、弾く真似）

結花 そもそもスピッツレベルが、メンボしねえだろ？

尾山 もうぐいぐい来るね。

晶 （描きながら）スピッツのベース殺して空きつくりますか？

ミカ あたしの好きな眼鏡キャラも入れてくださいよ！

結花 北大路欣也がかければいいでしょ！！

ミカ それじゃ、ますますあなたの元カレじゃん！

結花 あ・・・

隙を突かれた結花。

顔に出る。

ミカ はははっ。まだ「萌え」、残ってる？

結花 ・・はあ？

ミカ (尾山たちに報告) まだ残ってんすよ、

尾山たち ああ〜、

尾山、急いで、喫茶店のナプキンの裏に、

眼鏡をかけた北大路欣也を描き始める。

ミカ あ、似てる。

晶 スピッツのボーカル描けました！(と絵を持ってく)

全員 おお〜！！ (笑い) ベース死んでる！ 超萌える！(など)

盛り上がってる輪から、結花がミカを連れ出し離れる。

結花 帰る。

ミカ ちよっと待って、コスプレ！

結花 ほんとにあたし手伝わたら、ホモ本売れるの？

ミカ 売れる、売れるから、

結花 (小声で) お姉ちゃん、それでお金マジで返してよ。

ミカ 返す返すから、

結花 ……ほかのバイトじゃダメ？

ミカ あたしこれしかできないんだよお、マジでえ、

結花 でもこの印刷代のために借金してんでしょ!?

尾山 やだ、ミカ嬢、ゆかちゃんから御借りしてたの?!

ミカ ぐふっぐうふふふ、

結花 誤摩化せてない誤摩化せてない、笑って誤摩化せてない! もくもく、何歳まで萌え狂ってるのよお。

ミカ きつとババアになって萌え死ぬまでだねえ、

尾山とミカ、頷き合いじゃれ合う。

二人 きゃきゃきゃきゃきゃきゃきゃ!!

晶、小さく無音で拍手。

結花 納得してないでください！ も～～～～！！

ミカ、何の問題もなく輪に帰っていく。

結花、馬鹿らしくなり、酒を片手に離れたソファに座る。

それとなく、店の本棚にあった漫画『太郎丸』を手取る。

ミカ あくくく、このカップリング超面白いけど、新刊の需要としては低いですく！

尾山 そっかあ、

晶 どうします？ やっぱ『聖パヤ』にします？

三人 うくくくん、

三人がややアドリブで新刊のネタ探しをする。  
気付くと、結花が『太郎丸』を読んでいる。

尾山 あ！ あれ！ ・ ・ ・ねえ、結花ちゃん、ちょっと、

結花 え、

尾山 好きなの？ 『太郎丸』？

結花 いや、置いてあったから、

晶 (鼻で笑い) なんですか、あの池上遼一みたいな絵柄、

尾山 なんか『月刊・時代劇』で連載してる、超硬派な漫画なんだけど、店長が何故か全巻揃えてて、  
床屋かって言う、

ミカ おやまん先輩、あたしのBLレーダーが察知しました、

尾山 マジで？

ミカ ちよつと、ちよつと貸して!!

結花 え、読んてるのに、

ミカ すぐ済むから!

尾山 (結花に) 安心して、「速読のミカ」って呼ばれてるから。

結花 えく『犬夜叉』みたいで面白かったのに、

超早く、読み出すミカ。

目を見開いたまま、小刻みに息を吸うたびにページをめくる。

超キモい。

結花 ほんとだ、超速い!

尾山 ね、

結花 キモイんだけど。え、家でこんな観た事無いんですけど、

尾山 キモイからじゃない？

読み終わる、ミカ。

ミカ ヤバい！！！！！ ただの時代劇と思いきや、歌舞伎役者が奪われた七色の声を取り戻すというファンタジーやないですかあ！ しかも、主役の太郎丸は女型で、女声もでるといってディフォルテでBL要素が装備されとる！！

尾山 あくく、表紙で毛嫌いして読んでなかったく！

ミカ その絵柄とキャラのギャップ萌えもあるんすよ！ ほら！！

と、漫画を渡す。

尾山、ミカよりやや早く速読。

結花 キモ！ 先輩もできるんだね（ミカに）

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

## MY SWEET BOOTLEG (2016) (おためしサンプル)

---

2016年8月4日 初版発行

著 者 ハセガワアユム © 2016年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529

---